

## 2 学年 SS 発展探究 第 2 回課題研究指導 報告

- ◇期 日 令和3年11月5日(金)5・6限
- ◇場 所 本校各教室、各実験室、ゼミ室、図書館等
- ◇参加者 2年探究科学科 生徒79名

前回の指導と同様に、今回の課題研究指導も富山大学から多くの先生方にお越しいただいた。数学、物理、化学、生物、国語、英語、地歴公民に分かれ、これまでの研究成果・考察を報告し、先生方から助言をいただいた。前回の指導から約5か月が経ち、前回は仮説にすぎなかったものに根拠となるデータが集まったことで、より内容の深い議論が交わされた。

先生方からは、研究の内容自体に対しての助言に加え、研究を進めるうえでの助言もいただいた。研究の内容自体については、固まりかけていた私たちの考えを、先生方にほぐしていただき、新たな観点をいただいた。また、研究を進めるうえでのグラフの利用の仕方や、語句の定義などについても助言をいただいた。グラフについては、条件に該当しないデータをあえて外すことで見えてくるものがあるということなどを教わった。私たち自身がまだ表計算ソフトに慣れていないということもあるので、これから情報処理のツールについても勉強し、様々なグラフを作り、試してみたいと思う。語句の定義については、私たちが何気なく説明に使っていた語句の定義が曖昧であることに気づかされた。

研究成果の報告について発表する機会を持ったことで、自分の伝えたいことがうまく相手に伝わっていないと実感できたので、発表の仕方を再考する良い機会となった。

これからは、12月中旬にある三校合同発表会に向けて活動していくことになる。今回いただいた助言をもとに、考察を深めていきたい。また、発表することに向けても、私たちが伝えたいことを、相手に伝えるための工夫をしていきたい。

最後に、今回お越しいただき、熱心にご指導いただいた富山大学の先生方に、深く感謝を申し上げます。  
(26H 谷口 記)

